

2024年11月14日

「株式会社ショーケースとの資本業務提携契約の締結、株式会社ショーケース株式（証券コード3909）に対する公開買付けの開始及び第三者割当増資の引受け」に関する代表者メッセージ

本日の取締役会において、公開買付及び第三者割当増資により、東京証券取引所スタンダード市場に上場する株式会社ショーケース（証券コード：3909）を、発行済株式数の51.00%を所有する連結子会社とし、資本業務提携契約を締結することを決議致しました。

2024年10月29日に開示した「中期経営計画（AI革命1.0）策定に関するお知らせ」のとおり、当社はAIを軸に自己投資・ファンド・PIPEs・投資銀行の4つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動で日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030年3月期の時価総額目標として1,000億円を掲げています（2024年11月13日現在の発行済株式数8,902,600株で算出した株価は約11,232円）。

今回の資本業務提携には以下のような意義があり、中期経営計画（AI革命1.0）を進めていく中で重要な役割を果たすものと考えています。

- ▶ 当社が有する金融機能・経営伴走支援機能に、DX/AIソリューション機能が加わり、投資先企業の発掘/関係強化/バリューアップにおける当社の優位性を高めることが可能となる
- ▶ 「投資⇒DX/AIによるバリューアップという投資事業とAIを一体とした新たな事業モデル」を確立し、持続的な成長モデルを構築することが可能となり、株式会社ショーケースは当社グループのAI戦略の中核を担うことが期待される
- ▶ 当社がこれまでに築き上げてきた全国の金融機関・地方自治体やCVCパートナー等の潜在顧客を株式会社ショーケースに紹介する体制を構築することで、同社のサービス普及を加速することが可能となる
- ▶ 当社がハンズオン経営伴走支援を手掛けてきたノウハウ・経験を活かし、株式会社ショーケースの様々な新規営業領域の開拓支援が可能になる

今回の資本業務提携により、両社グループの既存事業・シナジー効果もあわせ、今後年間100億円レベルの連結売上高を目指せる体制となります。

当社は、今後も株主価値の最大化に注力してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

AIフュージョンキャピタルグループ株式会社
代表取締役社長

澤田大輔

